



にぎわい交流拠点 民間機能施設（珈琲所コメダ珈琲店）

※画像は中山道本町通りから見た完成イメージ。建物手前には物販施設が建築されます（左写真参照）。
イメージは今後変更となる可能性があります。

中山道地域に「にぎわい交流拠点」 一部施設の建築工事がスタート

中山道本町通りに面する市役所の仮設庁舎跡地に、民間活力を活用して新たに生まれる「にぎわい交流拠点」。ここでは、施設整備の進捗状況と今後の見通しを紹介します。



中山道本町通りと市役所通りが交差する地点に位置する仮設庁舎跡地（北町2-8）

仮設庁舎跡地を活用して
にぎわいと交流の拠点に

かつて宿場町として栄え、歴史・文化の薫り高い中山道地域。「蔵らしさの核」とも言えるその一画に、市庁舎建設中に仮設庁舎が建てられていた市有地があり、市はその跡地の新たな活用方法として、民間活力を生かした、「にぎわい交流拠点」の整備を進めています。整備に当たっては、地元商店会や町会のご意見、パブリックコメントなど、地域の声を幅広く伺いながら、今年3月に「蔵市仮設庁舎跡地活用基本計画」を策定。民間機能施設（飲食施設）と

公共機能施設（物販施設、広場、駐車場等）を一体的に整備することで、新たなにぎわいの創出に加え、幅広い世代の憩いと交流、蔵の魅力発信を図っていきます。

民間施設にコメダ珈琲店
広場ではイベントも計画

民間機能施設の運営事業者は、カフェ業界でもトップクラスの人気を誇る「珈琲所コメダ珈琲店」を運営する、株式会社コメダが公募により選定されました。先月から建築工事がスタートし、来年2月には「珈琲所コメダ珈琲店 蔵宿店」がオープン予定です。

中山道地域では、地域住民で組織する中仙道まちづくり協議会の皆さんが「中仙道蔵宿まちなみ協定」を定め、宿場町として栄えた蔵の歴史ある景観を守る活動をしています。今回オープンする店舗もこの協定にのっとり、中山道の街並みに調和する外観や看板等、蔵オリジナルのデザインを持つ木造平屋建てとなります（上イメージ図）。

にぎわい交流拠点 施設配置イメージ

中山道本町通りに面した市有地(約1,650平方メートル)に、宿場町の歴史的景観に調和した物販施設と民間飲食施設を配置。更に、駐車場の2階部分には広場を設けます。賑わしさにこだわった、にぎわい・交流・憩いの場となる拠点を整備します。

民間機能施設

株式会社コメダ

- ・業界トップクラスの人気を誇るフルサービス型の喫茶店「珈琲所コメダ珈琲店」を開設・営業
- ・客席数約90席
- ・地域との連携やイベントへの協力、市事業のPRなども実施予定

公共機能施設

物販施設

- ・1階には物販店とトイレ
- ・2階は運営者の事務所等

広場

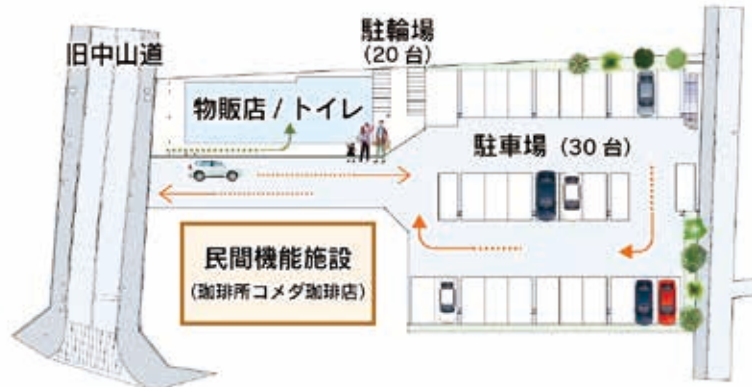
- ・人工芝、ウッドデッキ等を整備

駐車場・駐輪場（1階）

- ・敷地内に駐車場、駐輪場を整備

公共機能部分の総事業費、約4億7,000万円の内、2分の1は国の交付金を活用する予定です。

1 F



2 F



※施設配置図はプロポーザル審査における技術提案書から引用。今後変更となる可能性があります。

また、物販や広場機能を持つ公共機能施設は、設計・施工事業者として蔵宿にぎわい交流拠点整備共同企業体を選定され、今後、施設を運営する事業者を選定します。蔵ブランドやわらびりんご関連商品等の販売に加え、広場を活用したマルシェや親子イベントなどの事業も実施しながら、訪れる人誰もが楽しめる空間づくりを進めます。

駅西口の再開発と連動し にぎわいと回遊性を向上

令和9年に竣工予定の蔵駅西口再開発事業により、新たな人の流れとにぎわいが生まれるのに合わせ、中山道地域にもにぎわい交流拠点が整備されることで、蔵の玄関口である蔵駅前を起点とした、まちなかへの回遊性が高まることが期待されます。市はこれから、市民団体や事業者と連携しながら、まちのにぎわいと活力の創出に取り組んでいきます。

問い合わせ Ⅱ 商工観光課
(☎ 433・7750)

声

親も子も楽しい場所に

新しくできるカフェや、広場を生かした親子で楽しめるイベントに期待しています。子どもがイベントに参加している間に親どうしでのんびりカフェを楽しむ、といった使い方もよさそうですね。



さとう はるか
佐藤 遥さん
北町1丁目

進捗とスケジュール

～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
民間機能施設						
事業者選定、基本協定締結、事業用定期借地権設定契約		建築工事			営業開始	
公共機能施設						
事業者選定、基本協定締結、仮契約		本契約、設計、各種申請・届け出、建築工事				